

2000年(平成12年)6月20日

アイヌタイムズ第13号日本語版

★札幌雪祭り

北海道で一番知られている冬の祭りは何でしょうか？ 札幌雪祭りです。札幌雪祭りは、今年で51回になります。

1950年に札幌大通り公園で札幌の中・高校生が6つの雪像を作り、それから雪祭りは始まりました。1953年には（註* 15mある大雪像が地元の高校生によって初めて作られました。1955年には）自衛隊が参加し、さらに大きな雪像が作られました。

初めてテレビ、新聞でも紹介され、翌年からは本州からの観光客も増えて、にぎわいました。こうして、札幌の雪祭りは、日本の本当に名高い雪祭りになりました。1972年には札幌でオリンピックが行われたので、世界に雪祭りは知られるようになります。

1974年にはオイルショックがありました。ガソリンを購入できなくて、トラックに乗って雪を運ぶことができなくなったので、雪をドラム

缶に入れて運び、苦勞して雪像を作りました。1974年から、国際雪像コンクールが始まりました。その後、ミュンヘン、シドニー、ポーランドと、札幌とつながりの深い（仲のよい）都市にある建物（大きな家）のような雪像が作られました。

今年は、200万人ほどが、雪祭りに訪れました。いろいろな国から、もっと多くの人を訪れるとよいと思います。

〔横山 裕之〕沙流・千歳

*註：アイヌタイムズ第13号本文は、編集のミスにより、このカッコの部分のアイヌ語が抜けていました。お詫びいたします。以下がそのアイヌ語部分です。「札幌 ウン 高校生 15メートルパクノ アン シポロウパシ ノカ カンル ウェネ。1955パタ、 Satporo un kôkôsei 15 mêtoru pakno an síporo upas noka kar ruwe ne. 1955 pa ta,」